

編集後記

会誌一二六号の巻頭には、昭和六十二年度の本会の総会・大会での記念講演である西別府元日氏の「豊後古代史の二、三の問題」を、「丹生駅と大宰府道・日向道をめぐって」と改題、まとめてもらったものである。古代史の研究上、大きな課題でありながら、その究明はまことに困難な作業であるが、漸新な所見をまとめた論説は、これからの二豊の古代史研究の方向を示すものである。

次の真野和夫氏の論説は、本誌前号の「宇佐宮境内絵図考——応永古図と寛永五年絵図」と併せてお読み願いたい。宇佐宮絵図のうち「応永の古図」と共に重要な「到津家所蔵絵図」についての考察は、まことに注目すべきもので、これからの宇佐神宮史の研究を前進させるものがある。

これからも会員各位の研究の成果を、遠慮なく事務局にお寄せ願いたいものである。

昭和六十二年七月二十五日 印刷  
昭和六十二年七月三十日 発行

大分県地方史 第二二六号

編集者 後藤正二

発行者 渡辺澄夫

印刷者 中尾寿孝

別府市中央町九一―五

印刷所 日の丸印刷株式会社

(電話 220341)

発行所

〒八七〇一―一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関八一五二九四番)